

岡山県立大学開学30周年記念募金趣意書

Okayama Prefectural University 30th Anniversary

謹啓 皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本学の運営に対しひとかたならぬご尽力とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、岡山県立大学は平成5年（1993年）に開学され、令和5年（2023年）に開学30周年を迎えました。本学の源流は、岡山栄養科学園（1946年開校）、県立高等看護学校（1962年開校）、県立保母養成所（1949年開校）であり、それぞれ岡山県立短期大学（1961年）に改組、統合されながら、岡山県立大学の開学につながっております。70年以上の歳月を経る中で、大学開学に伴い校舎は総社市へ移転し現在に至っておりますが、この間、2万2千人もの有為な人材が社会に巣立っております。

建学の理念である「人間尊重と福祉の増進」の実現に向けて、他の教育研究機関及び地域社会との自由かつ堅密な交流連携のもとに、人間・社会・自然の関係性を重視する実学を教授研究するとともに、知性と感性を育み、豊かな教養と深い専門性を備えて新しい時代を切り拓く人材を輩出しており、地元経済のみならず全国の地域社会の発展にも多大な貢献をしております。

今般、開学30周年に当たり、同窓会と岡山県立大学共催で記念事業を計画しているところであり、これを機会に本学のさらなる発展を図っていきたく存じます。皆様方には、誠に恐縮ではありますが、どうかこの記念募金の趣旨にご理解を賜り、格別のご支援とご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。

謹 白

令和5年4月吉日

公立大学法人岡山県立大学
理事長 沖 陽子
岡山県立大学同窓会
会 長 平野 悦子

【30周年記念募金の概要】

1) 主な用途

① 地域開放型カフェテリアの開設

- ・学生食堂について、地産地消を基本に、栄養バランスに配慮した料理が楽しめ、地域との交流拠点になる施設を目指します。

② 新しい教育環境の充実

- ・新型コロナウイルス感染症を契機として、社会人教育を含む大学全体のデジタル化を加速する取組を推進します。

③ 30周年記念事業

- ・これまでの教育、研究の歩みを振り返る記念誌等の制作や、記念式典を行い、広く本学の取り組みを周知することにより、さらなる発展の契機とします。

2) 募金目標額

- ・個人の皆さま 1口 5千円（何口でも結構です。）
- ・法人の皆さま 1口10万円（何口でも結構です。）

3) 募集の期間（第4期募集）

令和5年4月から令和5年5月末まで

4) 募金の払込方法

別紙の払込票を用いて、銀行又は郵便局窓口でお振込みをお願いいたします。

5) 税法上の優遇措置

募金（寄附金）は確定申告によって、所得税法、法人税法、地方税法による税制上の優遇措置を受けることができます。